

ふかまちのまど

第一五三号 〇七年〇二月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三三三八八二

町内会連合会活動報告

町内会連合会会長 高崎修
役員会開催(一月二十日)

一、藤井川を中心とした、河川の清掃を二月十八日(日)に上、中、下組一斉に実施することを決定した。具体的な実施方法は各組で決定する。

二、経過報告

「ふかまちのまど」のホームページ開設
如水館の全面的な支援を頂いて、昨年十二月から開設した。今後、毎月分を掲載する。又、創刊号以来の古いものも掲載している。

歩道工事の開始

中組千川講の深の里(元郵便局)近辺は歩道が途切れていたが、西本前会長時代からの陳情の結果、一月二十四日から着工することとなった。

受章

おめでとーございます

昨春秋(十一月)の叙勲で、高崎出旭様(中組田屋講)が瑞宝双光章を受章されました。遅れましたがお知らせします。

なお、平成元年以降では次の方が受章されています。

☆梶谷良夫様(下組三班)

☆林美樹雄様(上組上成瀬講)

☆成末豊様(上組下成瀬講)

☆岡本弘様(中組仲城講)

☆船本信弘様(中組西野講)

☆船六等瑞宝章(平成三年四月)

その他、受章された方があります。

ましたらお知らせ頂きたく存じます。(編集室) ▲▲

深小だより

深小学校教諭 周才泰裕

いつもお世話になります。昨四月に深小学校に赴任いたしました。四年生の担任をさせていただきます。昨年三月までは世羅町の宇津戸小学校に勤務しておりました。

四月の就任式の時に初めて耳にした深小の子どもの校歌はとてもリズムがよく、たおやかな響きがあつて心地よく聞かせてもらいました。

第二回三原市民 ビーチボールバレー大会

下組 南 ちとせ

一月二十一日、リージョバンにおいて、ビーチボール大会が開催されました。深からは、小学生・四〇歳未満・四〇歳以上の各男女一チームの計六チームが出場しました。当日は、熱戦が繰り広げられ各チーム共すばらしい戦いを見せてくれました。

若いうちに比スポーツには少しづつ親しみがなくなり、久しぶりに身体を動かす事が出来ました。又、練習を含め他の皆さんとの交流の場がもてた事をうれしく思います。

参加六チーム共、惜しいところでセットを落しましたが、皆さんベストをつくしました。皆又来年に向けて頑張ります。



試合結果(一セット九点先取)

※小学生の部は子ども会だよりに掲載

四〇歳未満

男子

深2-1沼北(一回戦)

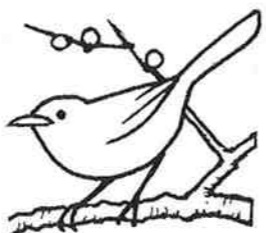
深1-2中之町(二回戦)

女子 深0-2鷹浦

四〇歳以上

男子 深0-2大和

女子 深0-2本郷西



深小学校の児童の第一印象として大きなことは、先生方の言うことをとてもよく聞く素直さです。特に学年があがるにつれて、きびきびとよく動くところは感心しました。

周囲を山で囲まれた自然の中でのびのびと育った素直な深小の子どもの持つ可能性を思い切り伸ばすことができるように、今後も精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

深小をいつもあたたかく見守り、支えてくださった地城の方々、保護者の皆様、よろしくお願ひします。 ▲▲

「ふかまちのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.icat.ne.jp/~fuka/top.html>

子ども会だより

ビーチボールバレー

子ども会会長 小川和彦

一月二十一に開催された「第二回三原市民ビーチボールバレー大会」に、小学生の部で、男女チームが出場しました。試合は、残念ながら両チームとも一回戦で敗退しましたが、元気一杯のプレーで頑張ってくれました。



試合結果

一回戦(セットカウント)

男子 深町1-2中之町

女子 深町0-2沼北

深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましょう



深小の子どもは

○午後四時頃下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、

声かけをしましょう。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ
この肌になりにたきものと言いなながら
搗きたての餅妻は切り居る

元日とゆうにわが家の犬達は
散歩を急かせ餌を寄越せと

自分より大きくなりた孫の肩
抱き寄せ婆は涙の笑顔

▲▲

中組 転入・転出のお知らせ
(十二月)

転入 有田悟志様 (南峠講)

転出 佐野マモル様 (千川講)

謹んでお悔やみ申し上げます

小林 直人様 七三歳
(上組 西側講) 十二月三十日
崎土居 昭二様 七九歳
(中組 土居講) 一月五日

深町各種団体二月行事予定

- ◆町内会連合会 藤井川等の清掃作業 十八日
- ◆小学校・幼稚園 内科検診 一日
- ◆冬季学芸会 説明会・豆まき 二日
- ◆英語活動 諸費集金 七日
- ◆冬季学芸会 諸費集金 八・九日
- ◆貯金日 保健指導 十三日
- ◆おみせごっこ 新入園児保護者会 十四日
- ◆おひらき入会者会 十五日
- ◆新入生入学説明会 十六日
- ◆英語活動 十九日
- ◆持走大会 二十一日
- ◆誕生会 発表会 二十三日
- ◆如水館中学・高校 マラソン大会 二十七日
- ◆中学百人一首カルタ大会 二十八日
- ▼高校三年送別会 二八日

展望席

昨今猪は頼みもしないのに、わざわざ夜暗いうちに親子で畑を耕してくれまふ。そのかわりに遠慮容赦なく農作物やみみず等をしっかりと食べて、置き土産はあるのですが、礼も言わずに帰っていきまふ。猪は年々頭数も増え、森林開発等で山が住み難くなったのか、里へ沢山出て来るようになりまふ。

今では猪も学習しているらしく、猪に対する自衛策・防護策もいつの間にかクリアされてしまいまふ。「山より大きな猪は出ない」とは言うものの、このまま猪が増え続けると、山里は猪で埋め尽くされ、人の住む所がなくなるかもしれまふ。

昭和二五年頃、進駐軍数十人が深の上組にやってきて、地元深の猟師と合同で大掛りな猪狩りを実施。ところが、しとめた獲物は「大山鳴動して鼠一匹」ならぬ「野鬼一匹(羽)」。猪退治は簡単にはいかないうです。もつとも、猟に不慣れた進駐軍では無理だったのかも?

しかしながら、瓜坊(猪の子)の可愛らしい姿を見るにつけ、猪はどこか憎めないものがある。猪はどか憎めないものがある。猪はどか憎めないものがある。猪はどか憎めないものがある。

猪の話題がない日はないでしよう。国も自治体も、より本腰を入れて猪対策に取り組んで頂きたいものです。

